

平成30年6月 資金需給見込み

平成30年6月5日
上田八木短資株式会社

(単位:億円)

	見込み	(前年実績)	(前年比)
銀行券要因	△ 7,400	△ 8,483	1,083
財政等要因	△ 13,700	△ 2,063	△ 11,637
国債等	△ 12,600	9,523	△ 22,123
国庫短期証券等	△ 28,100	△ 40,277	12,177
租税	△ 78,300	△ 74,100	△ 4,200
社会保障	12,100	11,900	200
交付金	38,300	39,000	△ 700
公共事業	2,000	2,000	0
一般その他	8,400	8,400	0
財政融資	△ 5,200	△ 5,200	0
外国為替資金	-	△ 200	200
保険	44,400	41,600	2,800
特会その他	12,000	10,800	1,200
資金過不足	△ 21,100	△ 10,546	△ 10,554

(日本銀行・財務省公表資料より。財政等要因の内訳は主要項目のみ。)

1. 銀行券

銀行券要因は、7,400億円の発行超と予想される。

(6月末銀行券発行残高前年比見込み+4.0%)

2. 財政等要因

余剰要因として普通交付税の交付、年金定時払いや、国債の大量償還がある一方、不足要因として消費税、法人税、源泉所得税等の揚げや、国債・国庫短期証券等の発行があり、1兆3,700億円の不足となる見込み。なお、国庫短期証券売買オペにより日銀が取得した国庫短期証券のうち、5月中に償還期日が到来する金額は2兆9,400億円である。

3. 資金過不足

この結果資金過不足は、2兆1,100億円の余剰となる見通し。

4. 日銀調節残高

(平成30年5月31日現在) 単位:億円

	5月末残	うち6月中期日到来残高	期落ち比率
共通担保(本店)	0	0	-
共通担保(全店)	3,704	3,554	96%
C P 現先	0	0	-
成長基盤支援強化	68,875	4,500	7%
被災地金融機関支援	5,418	863	16%
貸出増加支援	386,636	49,368	13%
国債買現	0	0	-
資金供給調節合計	464,633	58,285	13%
売手入札	0	0	-
国債売現	0	0	-
資金吸収調節合計	0	0	-

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号 加入協会 日本証券業協会